

結城農業かわら版

第124号

令和2年 8月20日

発行 結城地域農業改良普及センター

TEL: 0296-48-0184

FAX: 0296-48-2682



HPへアクセス↑

結城地域農業三士情報交換会を開催しました

8月4日、農業三士25名の参加を得て「結城地域農業三士情報交換会」を開催しました。例年、関係機関にもご出席いただいていたのですが、今回は新型コロナウイルス感染防止のため、農業三士のみでの最小限の人数で、参加者の検温等出来る限りの対策をとって開催しました。

農業三士新任者の紹介の後、事例研究として、「露地野菜の機械化一貫体系による作業の効率化と安定生産」と題し、茨城町の平澤様から御講演を頂きました。

加工キャベツを播種から収穫・出荷まで一貫して機械化することで、従来の作業体系と比べて単位面積当たりの労働時間を50%以上削減することが可能となった事例や、産地づくり・担い手づくりについてお話いただきました。

今回の講演を受けて、さらに詳しく機械化について学びたいという声があったため、秋に茨城町に研修に伺うことになりました。



事例研究講演



キャベツ移植機と収穫機

マルチ試験をはじめました

市や町の農業用廃プラスチック回収は令和3年度以降、緑マルチの回収が終了となります。令和3年度からは産業廃棄物として処分するため、費用が高くなってしまいます。

緑マルチは管内の春葉菜やメロン等の栽培で多く使われているため、普及センターでは生産者・関係機関・メーカーと連携して、緑マルチに代わる春栽培用マルチの現地試験をはじめました。

8月6日、上山川小学校の東側のほ場に茶色や薄い黒色などのマルチを張り、地温の変化や雑草の発生量を9月中旬ごろまで調査します。今後、データをもとに各作物に適したマルチを選定し、来年春から栽培試験を実施していく予定です。



～農作物の盗難に注意しましょう～



水稻種子ほ場審査を行っています

結城市は、県内で2番目に大きな水稻の採種ほ場があります。普及センターは、優良な種子の生産に向けて、関係機関と連携し、種子生産者に様々な指導、審査を行っています。

中でも、出穂後に生産ほ場を直接確認する「ほ場審査」は非常に重要です。ほ場審査では、水稻の生育状況を確認しつつ、異品種や変異株がほ場に生えていないか、生育状況や管理状況等を厳正に審査し、問題があるときには改善策を指導します。

さらに、この後生産された籾について発芽率や外観品質を審査し、種子として流通させます。

一般の水稻生産者の方々に優れた種子を供給できるよう、今後も活動を継続していきます。



いばらき農業アカデミー「法人化講座」を開催します

いばらき農業アカデミーは、意欲ある農業者や農業を志す方々を対象に、農業経営や先進技術などに関するさまざまな学びの場を提供しています。

「法人化講座」では本県の農業経営の法人化を支援するため、税理士等の専門家が法人化のメリットや手続き等について講義を行います。

今すぐ法人化をするという方でなくても、今後法人化を考えている方、少しでも興味がある方はふるってご参加ください。参加費は無料です。

詳しい内容についてはチラシをご覧ください。

日にち： 10月2・8・15日、12月11日
時間： 17：00～19：00
会場： 結城地域農業改良普及センター 会議室
申込み： チラシをご覧ください

お問合せ

担当：結城地域農業改良普及センター 糸澤
FAX：0296-48-2682（送付状不要）
Email：t.itozawa@pref.ibaraki.lg.jp

露地野菜台風対策

毎年台風被害が問題となっています。台風前に対策をきちんととり、被害を抑えましょう！！

- ・ほ場まわりの排水路を確認し、泥や草などがつまっている場合は取り除いてください。
- ・定植直後～生育初期の作物は、寒冷紗等のべた掛け資材で被覆しましょう。
（※台風が通り過ぎたら、すみやかにべた掛け資材を取りのぞいてください）
- ・ネギ類やキャベツ・ハクサイなどは土寄せを行い、株の揺れを少なくしましょう。
- ・ナスなどの果菜類は不要な枝葉を落とし、収穫できる実はすべて収穫しておきましょう。

やさいメモ ～野菜のちょっとした豆知識・ナス編～

原産地はインドといわれ、日本では奈良時代には栽培が行われていました。

形・大きさの異なる地方品種が各地にあります。

皮の紫色にはナスニンという抗酸化作用を持つポリフェノールが含まれます。細胞の老化を抑えたり、動脈硬化の予防に役立つとされています。

鮮度を保つには、ビニール袋に入れ冷蔵庫でなく、室温の涼しいところに保管しましょう。



編集後記



先日、水稻種子ほ場審査をしているときに軽い熱中症になってしまいました。自分では大丈夫と思っていたても、急に症状が襲ってくるという恐怖を改めて体験することができました。今後はこのようなことのないように水分補給や体調管理をしっかりしていきたいと思えます。（小沼）

熱中症対策のため、こまめな水分補給を心がけましょう

